

正副会長を再任

神協

放置シャシー
対策

会員に文書配布

阪海コン

【兵庫】阪神港海上コンテナ協会は、6月18日に総会、24日には理事会を開き、任期満了に伴う役員改選で、小西保美会長（59、キャリアーサービス）をはじめ正副会長全員の再任を決めた。

新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、少数の出席者で総会を開催。新役員18人を選出するとも

に、2021年度事業計画を承認した。21年度もストックヤードやシャシープールの運営、阪神港入出管理情報システム事業、輸送秩序確立に向けたパトロールといった事業を継続。大阪、兵庫の両府県トラック協会海コン部会と相互に連携し、海コン輸送を取り巻く諸課題の解決に努める。

24日に大阪市で開いた理事会では、正副会長を再任する一方、港頭地区における放置シャシー対策として全会員に文書を配布し、法令順守の徹底と違反車両の通報を促した。また、神戸市中央区のポートアイランド（PI）地区の海コン専用道路で、ドライバーのポイ捨てによるものと思われるゴミの散乱が目立つことから、会員への指導を求めるとともに、市港湾局の協力を得て大規模な清掃キャンペーンを展開することを

決めた。

小西氏は「新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言がようやく解除されたものの、経済活動が正常に戻ったというわけではない。取り巻く状況は依然として厳しいが、懸案事項に引き続き対処したい」と抱負を述べた。

（小葉史和）